

編集後記

ふそうの由来

1932年(昭和7年)、B46型バスが誕生したときに愛称を社内募集し、選ばれたのが「ふそう」の名称。漢字では「扶桑」と書き、昔、中国では「東の日の出るところにあると伝えられる神木」を指し、日本の別称としても使われた言葉です。実在する扶桑の木は扶桑花(ぶっそうげ)と呼ばれ、一般にはハイビスカスの名で知られています。



編集後記

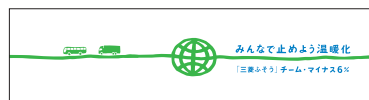
三菱ふそうの「環境・社会報告書2006」をご覧くださいましてありがとうございました。記載項目は「環境報告書ガイドライン」に従い、報告を主体とした目的は従来通りですが、今号は、一般の読者の方々にとってより読みやすいことを心掛け、トピックス記事を掲載するとともに、デザイン・レイアウトに工夫を凝らしてみました。

内容の質・量、表現方法、また取り組み内容も含めて、皆様のご意見、ご感想などをアンケートにてお寄せいただければ幸いです。

なお、環境報告書(冊子)の出版にあたっては、右記のような環境配慮をしております。

「チーム・マイナス6%」に参加

MFTBCは地球温暖化防止の国民的プロジェクト「チーム・マイナス6%」に参加しています。イントラネットや社内報を通じて地球温暖化防止のための啓発を行い、CO₂排出抑制に努めています。



報告書における環境配慮

本書では、FSC認証紙と大豆油インクを使用し、水なし印刷を採用しています。

◎FSC認証紙

工程に携わった全ての会社が、FSC(CoC)認証を受けており、「適切に管理された森林から作られている」ことを証明された紙。原材料となる木材を運ぶ輸送会社、チップ製造や製紙会社、紙の卸・販売会社、そして印刷会社など全ての工程がFSC森林認証を受けていることを示しています。

◎FSC森林認証制度

FSC森林認証制度は、「適切な森林管理」を認証し、その森林で生産された木材及び木材製品をラベリングすることを通じて、持続可能な森林管理を普及させることを目的とした制度です。

効果として・・・◇世界的な森林減少・劣化を防ぐ効果が期待できる。

◎SOY INK(大豆油インキ)

SOY INKとは、インキに使用される石油系溶剤を大豆油に置き換えたエコマーク認定品のインキです。

効果として・・・◇大気汚染の原因となるVOC(揮発性有機化合物)の発生を低減できる。

◇インキと紙を分離させやすいので印刷物を再生する際にリサイクルしやすい。

◇埋め立て処理する際に土中で分解しやすい。

◇石油などの化石燃料系の資源の使用量を抑えることができる。

つまり、従来のインキに比べ、人と環境に与える負荷を減らす事ができるインキです。

◎水なし印刷

通常の印刷に使用する「湿し水(しめしみず)」という薬液品を使わない印刷方法です。

効果として・・・◇有機物質やアルコールなどの有害物質の使用量を削減できる。

◇印刷版を作る際にも有害物質の処理は一切なく、環境への負荷が格段に少ない。

(通常の印刷ではpH12以上の強アルカリの処理液を使用する)